

赤外線カメラ搭載ドローンによる検査



太陽光パネル破損状況やホットスポットの有無を確認

太陽電池モジュール洗浄

(ソーラーパネル)



産業用・大規模太陽光発電事業者様へ

太陽光発電システムを設置する際に、その後のメンテナンスについて考えていない事業者様が少なくありません。

「メーカー保証があるから大丈夫」「定期点検があるから心配ない」と考える方が多くいらっしゃいますが、メーカー規定の定期点検だけでは、太陽光パネルの汚れまでは対応できません。

長年にわたってパネルの表面に汚れが蓄積すると、太陽光発電の効率は確実に落ちます。

特に大規模に太陽光発電を展開されている方は発電効率が数%落ちるだけで、売電収入額が大幅減となり、太陽光発電によるメリットを十分に享受できません。

家主様・不動産オーナー様へ

「太陽光パネルの汚れは雨などで自然に落ちるので、メンテナンスフリーで清掃する必要ありません」と太陽光パネルの設置業者(またはメーカー担当者)に言われる方も少なくありません。

しかし設置後、実際に屋根や屋上に登って近くでよく見てみると、一見きれいに見える太陽光パネルに黄砂や鳥の糞・花粉などがこびりついている場合が多くあります。

設置されている周辺環境によって汚れの状況は異なりますが、交通量の多い道路に面している設置場所では、排気ガスなどによる油性浮遊物が多く付着し、雨だけでは洗い流せない可能性があります。また、高所での作業は危険が伴います。

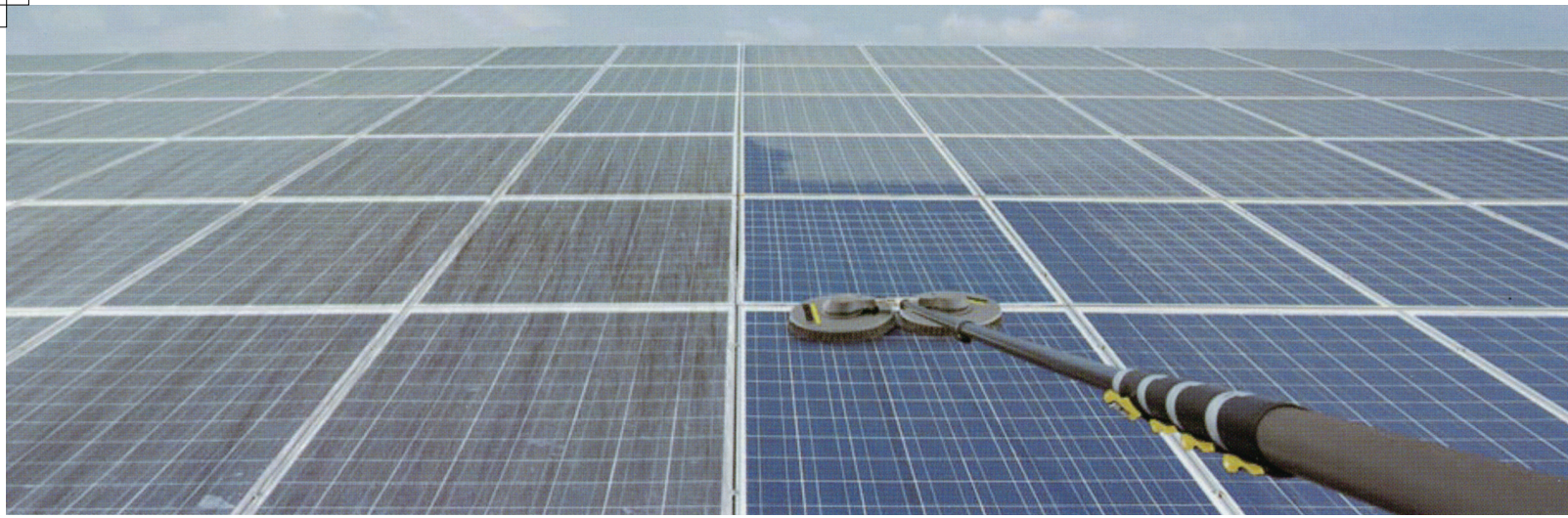


太陽光パネルをキレイに保ち発電効率を維持されたいお客様はぜひ一度、太陽光パネル専門の清掃業者にご相談ください。

■お問い合わせは

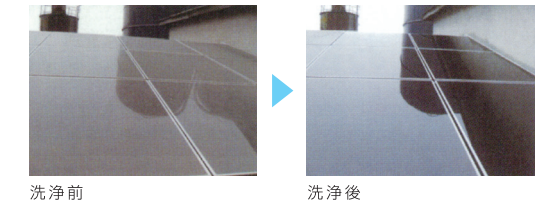
 株式会社 SSG メンテナンス事業部
 〒761-2102 香川県綾歌郡綾川町千足 2160 番地 7
 TEL.087-814-3313 FAX.087-814-3363
 Email: ssg@marble.ocn.ne.jp
www.sky-solar-generation.com/





環境に優しい「純水水」を使用して清掃します。

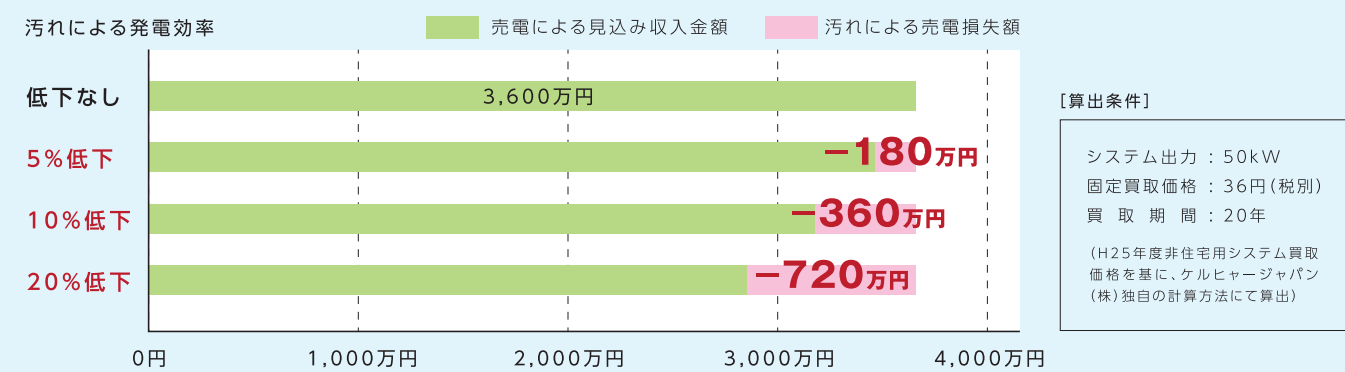
「純水水」を使用することにより、太陽光パネルの保護フィルムや部材を痛めることなく、パネルに付着したあらゆる汚れを効率的に落とします。



太陽電池モジュールを洗浄することにより 太陽光発電システムの発電効率を 高いレベルで維持できます。

2012年7月よりスタートした、再生エネルギーの固定価格買取制度により、太陽光発電システムの普及が進んでおります。設置された太陽電池モジュール(ソーラーパネル)に、花粉や黄砂、鳥の糞などの汚れが付着すると、発電効率が低下するだけでなく、モジュール破損などの思わぬ事故に繋がる可能性もあります。

■汚れによる発電効率低下(売電収入額減少)のシミュレーション



※発電効率低下率(%)・見込み収入・売電損失額は20年通しての金額として算出しております。

ホットスポットが「火災」や「漏電」の原因

鳥の糞が太陽光パネルに付着すると電気抵抗となり異常加熱「ホットスポット」という箇所ができます。これが、「火災」や「漏電」の原因となります。「ただの汚れ」と認識していると予期せぬ事故に巻き込まれるかもしれません。



ホットスポットによる火災

「純水水」使用	モジュール表面を傷つけることなく直接ブラッシングして汚れを除去します。雨水では落ち切らない汚れも効率よく洗浄することができます。
洗浄効果	鳥の糞や土、ほこりが付着した状態にしておくと発電効率の低下となり、売電収益減少・パネル破損など、事故リスクが上昇します。パネル本来の状態に回復させることにより発電効率が回復し、売電収益改善・事故リスク低減に繋がります。

「純水水」と「水道水」による洗浄効果の比較

水道水
 水道水のみでの洗浄では水がその場に溜まってしまい、汚れの再付着やウォータースポット[※]の付着に繋がります。*水道水中のミネラル成分やカルキ等がモジュール表面に固着したものと

純水水
 鳥の糞や土、ほこりが付着した状態にしておくと発電効率の低下となり、売電収益減少・パネル破損など、事故リスクに繋がります。
 純水水がその場に溜まりにくく、モジュール本来の状態に回復します。発電効率の回復(=売電による利益の確保)、事故リスクの低減に繋がります。

■システム概要

エンジンタイプ
 逆浸透膜フィルター装置
 iSolar専用ホース
 iSolar専用ランス
 iSolar400(洗浄幅:400mm)
 iSolar800(洗浄幅:800mm)